

日の出が丘

【学校教育目標】 **本気で学び 思いやりのある子**
【重点目標】 **主体的に「考動」する子**



「主体的に『考動』する子」を目指して

伊東市立大池小学校長 力石 和彦

春光うらかな季節を迎え、新たな出会いに胸踊る日を迎えました。お子様のご進級・ご入学、誠に
おめでとうございます。

昨年度に引き続き、大池小学校校長を務めさせていただきます。本年度もよろしく願いいたします。

令和4年度学校教育目標

「**本気で学び 思いやりのある子**」

令和4年度重点目標

「**主体的に『考動』する子**」

学校教育目標は継続していきますが、重点目標は変更いたしました。そこで、変更になった令和4年度
の重点目標についてお話させていただきます。

世の移り変わりの激しいことを「十年一昔」と言います。しかし、現在は5年も経てば、言葉も考
も価値も古くなっています。流行するものなどは、ほぼ1年で終わってしまいます。かつて不易と言
われたものでさえ、社会の劇的な変化に変わらざるを得ない状況となっています。新型コロナウイルス
感染症も誰が予想できたでしょう。社会は、ウィズコロナ、アフターコロナがどうあるべきかを模索し
ている最中です。

このような変化の激しい時代において大切なことは、流行りに惑うことなく、自らの経験値や他者
とのコミュニケーションの中で「解」を見つけ出すことです。加えて、見つけ出した「解」を行動に移
したり、実践したりすることです。それを『考動』【造語】と名付けました。「主体的に行動すること」
そのものは、社会に求められている力でもあります。学習の場面はもちろんのこと、各種行事や日常の
生活においても、主体的に判断し、『考動』する場面をたくさん取り入れていきます。

何でも「主体的に行動」できればよい訳ではありません。その行動に至るまでにどのような考えがあ
ったのかが大切です。大池小学校は平成25・26年度に人権教育の研究、令和元・2年度に道徳教育の
研究を行いました。それが伝統として引き継がれ、子供たちには人権意識と道徳心の高まりが見られ
ます。引き続き、高まっている人権意識と道徳心が行動でなく「考動」の“考”としての基盤となるよ
うにしていきます。

そこでもお願いがあります。ご家庭でも、「主体性」「考動」を身に付ける手伝いをさせていただき
たいと思います。例えば、天気予報で午後から雨が降る可能性が高い日など、「傘をもっていきなさい。」
と言ってしまいがちです。指示待ちの子供になっていく典型的な声掛けです。そんな時には、「今日は
雨が降るらしいよ。」と声を掛けます。傘を持つ・持たないの判断は子供がすることになります。失
敗することもあるでしょう。しかし、これは失敗してもよい判断です。失敗しても「ほら、持っ
ていけばよかったの。」など、否定してもいけません。これが続くと、何も挑戦しなくなっ
てしまいます。待ちの姿勢が必要です。このような経験が積み重なって、初めて主体的に判断する
力が培われてくるのだと思います。子供に任せる部分は任せ、手を掛けずに目を掛けるよう
お願いします。子供の「主体性」「考動」を高める声掛けや手立てはたくさんあります。折
りを見て、学校便りでお知らせしていきます。

新型コロナウイルス感染症の第6波のピークは過ぎましたが、高止まりの状態です。今後
新たな株の出現や、第7波の到来も否定できません。大池小学校がとる「考動」は引き続き
基本的な感染予防対策です。「マスクの徹底」「手指消毒の徹底」「3密を避ける」を徹
底してまいります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

